

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 5-2-3	事務事業名 高齢者入浴券支給事業	所管部課 健康福祉部 高齢者支援課
----------------	---------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	高齢者入浴券を配布することにより、ひとり暮らし高齢者等の健康保持と保健衛生の向上を図る。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 【対象者】 ・市内在住の入浴設備を有しない世帯のうち、①65歳以上で一人暮らしの方、②70歳以上の者のみで構成されている世帯の構成員の方。 ・そのほか、西東京市内に住所を有し、かつ、入浴設備を有する者で、身体的な理由により当該入浴設備を使用することが困難又は危険であると市長が認めた方。 【助成内容】 公衆浴場で使用可能な入浴券を1人10枚/月を支給する(申請月については申請をした日に応じて支給枚数を減じる)。生活保護受給者については都制度により1人5枚/月の別途支給があるため、不足する1人5枚/月を支給する。 ※民生委員からの手渡しによる配布を原則とする。 (予算事業名:03.01.03.03 高齢者入浴券支給事業)	
事業開始時期	合併前	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目		単位	25年度	26年度	27年度	28年度
	財源内訳	事業費(A)			8,490	7,859	7,610
国庫支出金・都支出金							
地方債		千円					
その他 ()							
	一般財源			8,490	7,859	7,610	8,453
	所要人員(B)	人		0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円		1,587	1,642	1,587	1,660
	臨時職員賃金等(C')	千円					
	総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		10,077	9,501	9,197	10,113
	単位当たりコスト						
	(E)=(D)/ ()	千円		1,440	1,357	766	

評価指標の設定	活動等指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度
	①	新規認定者数	実績値	人	7	7	12
②	廃止者数	実績値	人	23	22	12	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 住宅環境の変化により、新規認定者数は多くない。							
評価指標の設定	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度
	一次	利用者数	目標値				
		実績値	人	165	150	150	
	二次	支給枚数	目標値				
実績値		枚	20,382	18,347	17,663		
《指標の説明・数値変化の理由 など》 住宅環境の変化により、利用者数及び支給枚数ともに漸減傾向にある。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	高齢者で入浴設備を有する家屋にお住まいの方から入浴券を支給して欲しいとの声がある。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	対象者については他市とほぼ同様。支給枚数についてはばらつきがあるが、平均は年間70枚弱程度となっており、本市は年間120枚で26市中トップであることから、高いサービス水準であると思われる。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	福祉会館、老人福祉センターでの無料入浴サービス

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>住宅環境の変化等もあり利用対象者数はやや減少傾向にあるが、依然として利用対象者が一定数あり、福祉会館等の入浴施設の規模を考えると、依然全てをまかなうことは難しいと思われる。また、当サービスが健康な市民生活の水準維持に寄与していること、他、浴場に通うということで、引きこもりがちな高齢者が外に出る機会となり、コミュニケーションが広がることとあわせ、介護予防の効果も期待できる。さらに、民生委員が自宅を訪問して配布するため、利用者世帯の見守りと実態調査もできる貴重な機会ともなっている。以上のことから、入浴により清潔を保つという基本的な効果はもちろんのこと、一人暮らし高齢者や高齢者世帯と民生委員・市とのつながりを保ち、見守りの役割も担う事業であり、継続実施は妥当だと思われる。</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	2	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>本事業については、ひとり暮らしの高齢者及び入浴設備を有しない高齢者世帯の健康保持と保健衛生の確保等の観点から継続実施をしてきたところであるが、新規認定者数の伸び悩み、利用者数及び支給枚数の減少など、変化が生じている。また、福祉会館や老人福祉センターにおいて、類似する無料入浴サービスを利用している高齢者もいるところであり、高齢者が優遇されている印象がある。前回の行政評価において、利用者数の推移や、他の入浴サービスの利用状況に応じた見直しを検討することが指摘されているが、現状分析やサービスのあり方の検証がされていない。今後は、近隣区市の公衆浴場の利用といった市民ニーズ等の把握に努めるとともに、事業の妥当性についても検証しつつ、見直しを図りたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	1	
	受益者負担の適切さ	1	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(対象外)

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、自宅に入浴設備を有しない高齢者の健康保持と保健衛生の向上等を図る上で必要な事業である。しかしながら、二次評価にもあるとおり、新規認定者数や利用者数及び支給枚数の減少などの状況の変化が生じている中、平成23年度の行政評価でも指摘されている現状分析やサービスのあり方の検証がなされていない点については、早期に実施すべきである。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>◇平成28年度 現状分析などの検証を行う。 ◇平成29年度 平成28年度の検証を踏まえ、対象や支給枚数など、サービスのあり方について検証する。</p>
---------------	--------------------------------------------------------------------------------------------